

評価対象事業		評価者	保育課担当課長 栗原 章郎
こども-12 認可外保育施設助成事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 保育課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針
			すべての子育て家庭への支援

1 事業の目的

2 平成26年度に実施した事業の概要

対象	両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童	・認定保育施設等に入所している児童の保育に要する経費を助成した。 ・認定保育施設等の施設整備、入所児童の処遇改善に要する経費を助成した。
意図	市内在住の児童が入所している認可外保育施設に対する補助を行い、施設経営の健全化を図るため。	
効果	認可外保育施設における児童の処遇向上及び施設経営の健全化を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日(住民基本台帳) ・対象者数=各年4月1日現在の入所児童数
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数	24人	事業の対象者数	89人	
運営資源状況	当初予算(千円)		決算値(千円)	24,332	
	国県支出金		国県支出金	11,668	
	地方債		地方債	0	
	その他		その他	0	
	一般財源		一般財源	12,664	
	人員配置数		人員配置数	1.0	
事業費運営	人件費(千円)		人件費(千円)	7,695	
	総事業費(千円)		総事業費(千円)	32,027	
	市民1人当りの経費(円)		市民1人当りの経費(円)	180	
	対象者1人当りの経費(円)	0	対象者1人当りの経費(円)	359,854	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	待機児童解消を目指し定員増を図っているが、待機児童の解消には至っていない。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	認定保育施設や届出保育施設に対し、運営支援の充実を図ることにより保育所待機児童の受入れを促し、待機児童対策に取り組んだ。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	待機児童の解消。	
効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	1. 統合できる
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有効性	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
公平性	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適格に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input checked="" type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 私立保育所等助成事業 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 平成27年4月に施行された子ども・子育て支援新制度への移行に伴い、認定保育施設に対する補助制度が廃止となり、また届出保育施設に対する補助事業は私立保育所等助成事業へ統合するため、認可外保育施設助成事業が廃止となり、予算規模は縮小する。
総評	平成27年4月に施行された、子ども・子育て支援新制度により補助制度の抜本的な見直しを図られたことを視野に入れながら、効率的な運営支援による保育事業の推進を図り、待機児童の解消を図る必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	待機児童数(平成26年4月1日現在)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	三浦市	葉山町	横浜市	川崎市	横須賀市
他市実績	55人	258人	140人	35人	0人	28人	20人	62人	24人

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方  
 本事業は、待機児童の解消を目的としており、平成26年4月1日時点の待機児童数において他市比較を行った。待機児童数は、その地域の様々な要因により形成されるもので、数値のみをもって単純に比較できるものではないが、結果としては三浦市を除く県内全市で待機児童解消は達成されておらず、全市的に更なる待機児童対策を要する。

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	待機児童数(各年度4月1日現在)						単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
保育を必要とするすべての就学前児童を保育することが求められているため。	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	実績値	55.0									
	達成率										

指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										

指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										

指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										

指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--